

株式会社おがフロンティアファーム（秋田県大潟村）



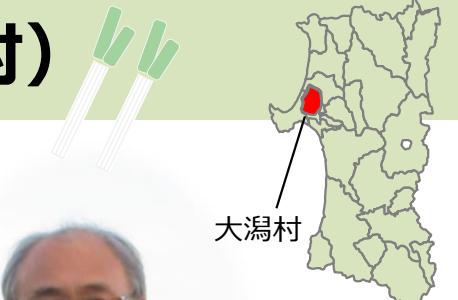
経営の概要

担当者名：代表取締役 宮川 正和

作付面積：ねぎ20ha（全量加工）、かぼちゃ13ha（加工7割、
生鮮3割）、飼料用とうもろこし24ha、葉牡丹30万ポット

取引先：JA、卸業者

その他：埼玉県熊谷市にもほ場あり



- 経営計画や経営戦略を組み立てやすいことがメリット。
- ねぎの皮むき作業が大変で、作業時間全体の約7割を占めている。
- 労働力確保と人件費の上昇の課題があり、機械化による省力化や雇用形態の工夫による人件費の削減がコスト削減のために重要なポイントとなる。



実需者とのつながり

- 全農から加工用ねぎの話があった。また、ラーメン店から、「国産のねぎで通年販賣したい」という要望があり、直接契約をした。
- 前年の実績をもとに、取引先との話し合いで契約内容（期間、値段、規格）を決めている。
- 天候等の影響により収穫量に変動があるため、ある程度契約内容にゆとりを持たせている。



今後について

- 水はけの悪さを考慮して、全面畠地化をする。
- 収量や作業効率の向上！
- 当初は熊谷市での栽培を組み込んだ周年出荷を目指していたが、現在は夏、秋、冬の秋田での出荷増を目指している。



新規取組する方へのアドバイス

「農業」としてではなく「事業」として、経営を創造していくことが必要！